



白ねぎ畑の様子

## 経営概要

### ◆ 代表者、所在地

代表取締役 栗原光博、長崎県雲仙市

### ◆ 設立年

令和5年9月

### ◆ 経営規模

白ねぎ 11ha、野菜（甘藷、玉ねぎ等）4.4ha

### ◆ 従業員数

役員3名、外国人技能実習生10名、パート・アルバイト1名

### ◆ 事業内容

白葱を中心とした露地野菜の生産販売に取り組む。

## 1

### 現状及び相談内容

独自ブランドの白ねぎの生産を行い、規模拡大を図ってきた。近年、急速に経営規模が拡大しており、効率的な営農体制作りと人材確保を図るために、法人化することとした。あわせて、**外国人労働者を多数雇用していることから法人化に伴う就業体制整備及び労働環境の改善への取組が必要**となった。

## 2

### 支援内容

**税理士による法人化のメリット等の説明や個人経営と法人経営の具体的な利益計算等の比較、社会保険労務士による就業規則の策定や労務管理などに関する助言**を行った。

## 3

### 人材の確保・育成に資する取組

★安全管理や柔軟な勤務体制の構築による労働環境の改善に取り組む

#### ■ 意識の高い労働環境取組（JGAP認証）

生産者の安全と福祉に関する適切な農場管理に努めており、JGAP認証を受けている。社内研修では、経営主が細かなリスク対策を自ら実践して見本を示すことにより、外国人労働者の労働安全確保について高い意識で取り組んでいる。

#### ■ 柔軟な勤務体制の構築

暑さによる従業員の負担低減を図るために夏季の就業時間を早めるなど、**季節に応じた柔軟な勤務体制を構築**することにより、従業員の健康管理・作業効率のアップが図られている。

#### ■ コミュニケーションの充実

国籍の異なる外国人を複数人雇用しているが、定期的にミーティングを実施するほか、作業の空き時間などを利用して、懇談会等を開催するなど、モチベーション維持や健康安全面に努めている。



外国人人材が農作業をサポート

#### 今後の意気込み

積極的なコミュニケーションにより、従業員の意見を聞きながら柔軟な勤務体制や労働安全確保等に取り組む、人材育成と労働管理のマネージメントで経営発展を図りたい。

#### 専属スタッフ所感

税理士や社会保険労務士の助言をもとに、役員で協議、経営方針を決定し、従業員が働きやすい環境がつけられています。